

# 筑紫女学園報 Report

# No.82

2014 February

2014(平成26)年2月5日



鼎談特集

～これからの時代を創る女性として～

## 女性の一生の中での「子育てとの向き合い方」

河邊 満代さん(元・附属幼稚園 保護者会副会長/中学・高等学校 OG)

×小野山 佳代(附属幼稚園 教頭) ×玉井 恵津子(附属幼稚園 教諭)

その教育 しなやかで、ゆるぎない。  
学校 筑紫女学園  
法人

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園

検索



# 法海

Hou-Kai

ここに響くことば

06

どれだけ物が豊かでも  
心豊かでなければ  
人生は空しい

リニアモーター新幹線が東京  
〜名古屋間を最短40分で  
結ぶようになります。スマートフォ  
ンの普及率が上昇し、日本の世の  
中はますます「便利で豊か」の方  
向に進んで行っています。確かに科  
学技術の発達には私たちの生活に  
様々な恩恵をもたらしてくれまし  
た。しかし、それでは幸せの基準が  
そこにあるということなのでしょ  
うか。

世の中が便利になっても、かえっ  
て忙しさを増しているように感じ  
るのはなぜでしょうか。忙しいとは  
「こころ」を「なくす」と書きます。  
もはや私たちはこの生活に馴れ、  
この便利さを手放すことはできま  
せん。しかしながらこの便利さの裏  
側にある課題を見つめることは大  
切なことでしょう。

便利さの影で様々な公害を生ん  
できました。また物がたくさんあ  
れば、物に対するありがたみ(感  
謝)が薄れ、物を粗末に扱ってしま  
い、莫大な量のゴミが出ています。

「日本では、おにぎり一つと粗末に  
し、インドでは、おにぎり一つとお  
がむ。どちらが幸せだろうか」とい  
う詩があります。また、ブータンは  
決して物が豊かな国ではありません  
が、国民総幸福度が100%に  
近いことで有名です。「足ることを  
知らない者は、富めるとも貧しい  
人にことならず、足ることを知っ  
ている者は、貧しくとも富める人に  
ことならない。(パリー律)」と「聖  
典」にあるように、仏教の教えの中  
に「少欲知足」があります。「欲を  
少なくして、満足することを知り  
なさい」ということです。それが自  
分の幸せにつながる一つの道なので  
す。

さて、「お・も・て・な・し」は物だ  
けではできません。むしろ心が大  
切です。心を豊かにするには何が  
必要でしょうか。たくさんのお本を  
読み、いろいろな人に出会い、自然  
と触れ合っていくこと、そして正し  
い教えに出会うことが大事だと思  
います。

【中学・高校宗教部】

この内容は、高校・中学のWebサイト「今月のことば」に掲載されています。「今月のことば」とは、毎月はじめ、高校・中学の全校生徒に配布している「ここに響くことば」です。皆さまもぜひご覧ください。【アクセスバナー】 <http://www.chikushi.ac.jp/kotoba/>

## Contents

### Special Issue

- P2 鼎談特集 ～これからの時代を創る女性として～  
**女性の一生の中での「子育てとの向き合い方」**  
・河邊 満代さん(元・附属幼稚園 保護者会副会長/中学高等学校OG)×小野山 佳代(附属幼稚園 教頭)×玉井 恵津子(附属幼稚園 教諭)

### CJ People

- P7 **やるネ! 筑女生**  
・大学/カナダでの1年半にわたる語学留学(家宮 沙織さん/大学・文学部 平成25年9月卒業)  
・高校/国際ソロブチミスト ヴァイオレット・リチャードソン賞を受賞(伊藤 友紀さん/高校3年)
- P9 **キャンパス通信** 笑顔あふれる大学生活を支える「コープフレンズ」の取り組み  
**のびのび! 幼稚園** 保護者寄稿/「たけのこクラブ」に感謝!
- P10 **がんばる! クラブ** 中学 文芸同好会  
**クラブ活動の成果**
- P11 **就職の筑女** 株式会社ワコール 坂井 美和子さんの巻
- P12 **卒業生からの手紙** 永松 愛子さん(高校OG/宇宙航空研究開発機構・主任開発員)  
**支えびとさん、登場!** 佐々木 こずえさん(中学校・高校/警備業務)

### CJ Topics

- P13 **CJ ホットピックス** ～注目の学園ニュース～  
・高校/3年連続21回目の出場「女子 第25回全国高等学校駅伝競走大会」  
・大学・短期大学部/「2013 STUDY ABROAD FAIR」を開催!
- P14 **CJ フォトピックス** ～写真で見る筑女生の「今」～

### CJ Information

- P18 **プレイバック 筑紫女学園 2013**  
**筑紫女学園からのお知らせ**
- P17 **学園中期計画「筑女プラン2017」進行中!**

### CJ Academy

- P19 **生涯学習のススメ** ほか  
・公開講座レポート  
・Professors' Works ～先生方の著作紹介～

## CJ Report

No.82  
2014 February

### CJ Reportの読み方

**各学校のマークについて**  
学校ごとに以下のマーク(色分け)を施しています。



上記以外の記事の色分けは任意で行っています。

### 表紙のこと

今回の表紙は、幼稚園の恒例行事「もちつき」で大活躍だったお父さんと園児たちが登場! 響流の森の整備や竹馬づくりなど、お父さん方にはいつも支えていただきまして、ありがとうございます!



### 「CJ Report (筑紫女学園報)」のバックナンバーはWebサイトで!

各学校のサイトからバナーをクリックするだけで本誌のバックナンバーをご覧いただけます。





特集／女性の一生の中での「子育てとの向き合い方」



元・附属幼稚園 保護者会副会長  
／中学・高等学校OG  
河邊 満代さん



附属幼稚園 教諭  
玉井 恵津子



附属幼稚園 教頭  
小野山 佳代

鼎談特集

～これからの時代を創る女性として～

# 女性の一生の中での「子育てとの向き合い方」

3歳から5歳という、最も多感なこの時期をわが子とどのように向き合って過ごすか。

子どもにとってはもちろん、母親として、また一人の女性として

自らの一生を考える上でも、とても大きなテーマの一つになります。

今回の特集では、本学園の附属幼稚園に3人のお子さんが通われた

河邊満代さん(元・附属幼稚園保護者会副会長)と小野山教頭、玉井教諭の鼎談を通して、

「女性の一生の中での子育てとの向き合い方」について、考えてみたいと思います。





幼稚園

Theme-1

# 3歳から5歳の子どもに対して 保護者と幼稚園が育むべきものとは？

## 「子どもの気持ち」を優先して幼稚園へ

**小野山** 河邊さん、お久しぶりです。3年おきに3人のお子さんをお預かりしましたので、長いお付き合いでしたが、その後、お変わりはありませんか？

**河邊** はい、おかげさまで3人とも元気にしています。長男はもう高校生なんです。でも、最初にこちらへ見学に来た日のことは、今でも鮮明に覚えています。

**玉井** 本園とのご縁は全くの偶然だった、とか…。

**河邊** そうなんです。大学卒業後、製薬会社に勤め、結婚

後は、実家が経営している老人ホームを時々手伝っていたのですが、長男の出産を機に育児に専念しました。その長男が3歳になった頃、「仕事を始めよう」と、あちこちの保育園を見て回りましたが、どこを見学しても長男は「行きたくない」の一点張り。そんな時、たまたま知り合いの方が「筑女の幼稚園を見てきたら？きくとお子さんに合うと思うわよ」と勧めてくれました。

**玉井** 仕事をするお母さんにとつては、時間的なことを考えると、保育園を選択したいです。なのに幼稚園とは、かなりの方向転換だったのではな

いですか？

**河邊** ええ。でも、どの保育園を見学しても「行きたくない」と言っていた長男が、「ここに行きたい」と初めて言ったのが、筑女の幼稚園だったんです。私にとつて、仕事のことはもちろん大切でしたが、一番大事な「子どもの気持ち」を優先して、入園することになりました。その後、2人目も3人目もこちらでお世話になったので、結局、復職したのは末の子が小学校に入った年でした。それまでは仕事のこととは全く頭にならないというくらい、子育てに慌ただしい毎日を過ごしました。

**小野山** ご長男は

本園のどこを気に入ってくれたんです。ようね。覚えていらつしやいますか？

**河邊** もちろんです。ある意味、私にとつて「感激！」の瞬間でしたから。初めて見学に伺った時

に、うちの子が園庭の入口に立っていると、すぐに在園児の子たちが「こっちにおいで〜。一緒に遊ぼう〜」と、それも一斉に誘ってくれたんです。それまでに見学したところでは「知らない子が来た」という感じで遠巻きに見ていることが多かった。息子は中に入りにくい雰囲気を感じていたので、先して、入園することにしました。その後、2人目も3人目もこちらでお世話になったので、結局、復職したのは末の子が小学校に入った年でした。それまでは仕事のこととは全く頭にならないというくらい、子育てに慌ただしい毎日を過ごしました。

に、うちの子が園庭の入口に立っていると、すぐに在園児の子たちが「こっちにおいで〜。一緒に遊ぼう〜」と、それも一斉に誘ってくれたんです。それまでに見学したところでは「知らない子が来た」という感じで遠巻きに見ていることが多かった。息子は中に入りにくい雰囲気を感じていたので、先して、入園することにしました。その後、2人目も3人目もこちらでお世話になったので、結局、復職したのは末の子が小学校に入った年でした。それまでは仕事のこととは全く頭にならないというくらい、子育てに慌ただしい毎日を過ごしました。

## 安心できる「場所」と「人」に囲まれて、伸びやかに

**小野山** ご長男は

本園のどこを気に入ってくれたんです。ようね。覚えていらつしやいますか？

**河邊** もちろんです。ある意味、私にとつて「感激！」の瞬間でしたから。初めて見学に伺った時

できるんだと思います。安心できる場所で、信頼できる人に囲まれていると、子どもたちは互いに垣根を作りません。

**小野山** 私が勤めはじめた時には、それが既に当たり前になっていた。子どもたちの「今」をどうやって見守るべきか、先生方一人ひとりが全員で真剣に考え、保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、毎日、試行錯誤しています。また、このような伝統は、玉井先生のように子育てを終えた経験豊富な先生方が、たくさん戻ってきて支え続けていただいているからこそ、途絶えることなく、今も続いているんだと思います。

できるんだと思います。安心できる場所で、信頼できる人に囲まれていると、子どもたちは互いに垣根を作りません。

**小野山** 私が勤めはじめた時には、それが既に当たり前になっていた。子どもたちの「今」をどうやって見守るべきか、先生方一人ひとりが全員で真剣に考え、保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、毎日、試行錯誤しています。また、このような伝統は、玉井先生のように子育てを終えた経験豊富な先生方が、たくさん戻ってきて支え続けていただいているからこそ、途絶えることなく、今も続いているんだと思います。

## 「自ら見つけ、創造し、挑戦する本園での取り組み例」

**小野山** ご長男は

本園のどこを気に入ってくれたんです。ようね。覚えていらつしやいますか？

**河邊** もちろんです。ある意味、私にとつて「感激！」の瞬間でしたから。初めて見学に伺った時

## Keywords

### ① 「子育てを終えた経験豊富な先生方」

本園では現在、約250名の園児に対し、24名の教諭で日々の保育にあたっています。このうち9名の非常勤講師の多くは専任教諭として勤務したのち、自らの子育てを終えて本園へ復帰し、各クラス担任の運営をサポートしています。また、この他に専任の養護教諭が1名常駐し、複数の目で子どもたちの活動を見守っています。



### ② 「自ら見つけ、創造し、挑戦する本園での取り組み例」

毎日の読み聞かせで、子どもたちの心に楽しさの宝物が蓄えられ、聞く、読む、読み取る、考える力の基礎が知らず知らずのうちに身につきます。



「熱い」思いが語られました。







幼稚園の教室で行われた今回の鼎談。予定の2時間を大幅に超えて、それぞれの

## 子どもが興味を持った瞬間を見逃さないこと

た。親から離れたくなくて、登園時にぐずる子の話をよく聞きますが、おかげでうちはまったくその心配がありませんでした(笑)。

**玉井** 見学に来られた方から「こちらの園児はみんな人懐っこいですね」「思いやりがありますね」「よく言われますが、そのような話を聞くたびに私はとても嬉しくなりませす。子どもたちは自分自身が楽しいので、仲間を増やしたくなるんですよ。きっと他の園児たちも息子さんと同じような経験をしているんだと思います。だから、ここでは「知らない子でも一緒に遊ぶのが当たり前」と無意識に感じているのではないのでしょうか。

**河邊** 私自身は筑女の中学・高校の卒業生でしたが、先ほど申し上げたように、保育園への入園しか考えていなかったのですが、筑女の幼稚園に対する予備知識は全くありませんでした。ただ、イメージとしては「短期大学の附属幼稚園だし、勉強的な部分なんかもとてもしっかりした」と思っていました。でも、実はとっても自由な教育方針なんですよね。勝手なイメージだったとはいえ、そのギャップにはかなり驚かされました。

**小野山** まず、時間を決めて一斉に何かをさせるとい

とがありませんから。自分のやりたいことを自分で見つけて、そこから学ぶのが本園のスタンスです。子どもたちはいろんな力を持っています。だから、何でも教えてやらせれば、たいいていのはできるのですが、「やらせてで

**Profile**

**河邊 満代**さん  
かわべ・みつよ ● 本学園中学校・高等学校から福岡大学薬学部に進み、薬剤師の資格を取得。結婚後は実家が経営する老人ホームを手伝い、第一子の出産を機に専業主婦へ。3歳違いの3人の子どもが本学園附属幼稚園に通う間、保護者会副会長を務めたことも。第三子の就学後に薬剤師として復職。その後は家庭の状況を鑑みながら勤務を続けている。



## 「やらせてできること」より「自分で見つけ、挑戦すること」が大事です。(小野山)

**河邊** そうなんです。あと、長男が小学校に入学した頃のことですが、自分の名前を漢

てあげたいと、平日頃から思っています。子どもは興味を持ったときが、一番伸びるときですからね。

**河邊** 私も同じ考えなので、ほとんど勉強などさせたことはありません。それと、園では絵本をたくさん読んでくださるでしょ。私も家ではなるべくたくさん読んであげるようにしていました。おかげで平仮名は全部絵本で覚え

**カブラ**

年齢ごとに、平面から、立体、構造物へと遊び方は無限大に広がります。時間を忘れ、夢中で遊ぶ子どもたちです。

★カブラ(KAPPA)は1988年にフランスで発売以降、世界各国の玩具賞を受賞した知育玩具。大人の手のひらに乗るほどの細長い同じサイズの白木の板を自由に積み上げたり組み合わせることで様々な形を作り出せる。創造力、集中力、器用さを養う「魔法の板」として、日本でも教育現場を中心に採用されている。

**お土産さん(おみやげさん)**

お土産さんが開店！お客さんを迎えるために、子どもたちの頭がフル回転し、生き生きと遊びが展開します。





**玉井** 3歳から5歳は、子どもその後の成長を考えると、最も大切な時期です。それにこの頃の子どもたちは純粋で、人の愛情や優しさを、想いをまっすぐに受け止めます。親や周りにいる大人たちが真剣に子どもたちと向き合い、愛情一杯にじっくりと関わり合うことで、子どもはその後

も着実に育っていきます。**河邊** 母親としての大先輩でもある玉井先生のような方が多くいらつしやることも、親にとつてはこの園の安心につながっているんだと思いますね。

**小野山** 卒園児や在園児の保護者の方々から「丁寧に子どもたちのことを見てくれるから安心」と評していただくことも多々あります。各クラス担任だけでなく、職員全員で一人ひとりの子どもたちを見守っているからでしょうか。他園に比べ、職員の人数が多く、手厚いのも確かです。子どもたちに主体性を持って活動させるためには、多くの目が必要ですからね。自由にさせながらも、危険なことや間違ったことを見逃さないことが大切なんです。「自由」と「放任」は違いますから。

## Theme-2

# 子育てと仕事。母として、一人の女性として見つめるものは？

## 一歩踏み出す「勇気」になった周りのサポート

**小野山** ところで河邊さんは、現在、薬剤師としてお勤めなんでしょうね？

**河邊** 子育ても一段落して、子どもから手が離れられるようになると、仕事への思いが改めて増してきました。でも、実際に働き始めると、子育てとの両立が結構大変。上の子どもたちの進学、夫の単身赴任、子どもたちの部

活動のサポート、それにPTAの役員が重なった時期は、2、3日寝込むこともありまして。

**玉井** うちも野球とバスケットボールをしていたので、よく分かります。そんなに重なって、心身ともに持ちませんよね。私も長年、義母の介護を続けていたこともあり、両立することの難しさや大変さをしみじみ感じたものです。

**小野山** そんな大変な思いをしても仕事を、とお考えになり、昼間の時間に余裕が出てくると、急に世の中に置いていかれているような気がして…。

**河邊** もちろん葛藤はありましたが、子どもたちが帰宅したときには家にいてあげたい、末の子が中学生になつてからの方がいいのではないかと、いろいろな考えましたね。でも、今仕事をしたいという気持ちがあるのだから、とにかく始めてみよう。子育てをしている長いブ

ち。子育てをしていると、ストンと狭い世界に入ってしまったような気持ちになつたりするんですよね。



子どものおかげで、人生が何倍も豊かになったと思います。(玉井)

## Profile

**小野山 佳代** 教頭

おのやま・かよ ● 本学園短期大学(現 大学短期大学部)幼児教育科卒業後、本園に幼稚園教諭として着任。昨年度(平成24年度)から教頭に就任し、現在に至る。園の運営全般について、教職員や保護者の皆さんと関わりながら、母校の幼児教育科の学生に対する講義を定期的に行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。



ランクの間に新薬がたくさん出ていたりして、覚えたり習わなければいけないことはたくさんありましたが、「何もしなければ、何も始まらない」という友達言葉が背中を押して

くれました。**小野山** 何かを始めようとするときに、周りのサポートがあると、本当に気持ちがあがりますよね。一歩踏み出す勇気を後押ししてもらえます。

**河邊** ええ、その通りです。ダウンしてしまったときには、夫と近くに住む両親が助けてくれましたし、幼稚園で子どもを通じて知り合った友達もたくさんアドバイスしてくれま

### ③ 【たんぼぼ「たんぼ」の「たけのこ」】

園後の所用、緊急の用事の時などに「一番安心できる場所を…」という考えから、在園児を対象とした預かり保育「たけのこ」を実施しています。また、未就園児を対象とした保育として「たんぼぼ(週2回)」「こどもぐり(スポンジ)」も併せて実施し、保護者の皆様の子育てを応援しています。



詳細は本園ホームページ<http://www.chikushi.ac.jp/knd/>をご参照ください

### ④ 【子育て支援機能を強化】

本 学園大学の教員による「子育て相談」や「発達相談」園内で実施する「教育講演会」などを随時実施し、保護者の方々の不安や悩みの解消につなげる機会を多く設けています。また、ほぼ毎日更新されるブログ「みてみて！元気な女の子」では、その日の園児たちの様子を写真入りで紹介し、在園児の保護者の皆様に好評いただいています。



した。それで気がつきました。社会に取り残されているような気持ちになっていたらけれど、実は子育てを通して、私の世界はかなり広がっていたんだな、と。実は、今の仕事も、幼稚園のママ友に紹介してもらったんです。

**玉井** 子育ては大変なことともいっばいあるけれど、楽しいこと多い。子どもと一緒に泣いたり、笑ったり、感動したり。そんな日々があったからこそ、自分の人生が何倍も豊かなものになったと思います。子どもとしっかり向き合って子育てを行うことで、母として、人として、女性として成長できたと思いますし、私の場合は、結果的に子育てを一生懸命やったことが、幼稚園教諭としてのさらなるスキルアップに繋がりました。それに今では、成長したわが子が私の仕事に対する一番のよき理解者になってくれますしね(笑)。

## 社会の変化にともない 徐々に女性に 働きやすい環境に

**河邊** 育児をする「イクメン」が増えたり、街中に託児所が増えたりしていることもあり、



## 子育て時代の葛藤を乗り越えることで 「次」に進むことができました。(河邊)

女性として子育てに向き合う際の選択肢は、以前よりかなり増えていると思います。少しずつ働きやすくなってきているようですね。

**小野山** 人口が減少し、社会の担い手としての労働力が不足していく中、国や県なども女性の就業を促進するための支援をさらに活発化させるようになってきました。また、園の行事でも、昔に比べると比べ物にならないほど、お父様方が積極的に参加されています。これからは、女性が育児のために自らのキャリアを中断させることなく、子育てできる環境がもっともつと整っていくことではないかと感じています。

**河邊** とはいえ、子育てをしながら仕事をするとすると、幼稚園や保育園のサポートは欠かせませんね。保育園では、0歳から2歳までのクラスに空きがないと聞きました。仕事に復帰したいと考える人が多い時期だけに、悩んでいるお母さんも多いようです。

**小野山** 幼稚園をその受け皿に、という動きもありますが、設備や体制、法制度上の問題などもありますし、慎重に考えなければいけないと思っています。また、預かる時間の短さや、園をお手伝いいただく機会の多さなどから考えると、働くお母さんにとって幼稚園は、まだまだ制約も多いかと思えます。本園としては、「たんぼ」や「どんぐり」、「たけのこ」などを通して、できる限りの対応を行っています。さらに大学(短期大学部)が併設する幼稚園として、保護者の方々の悩みや不安を少しでも解消できるように、子育て支援機能を強化するなど、今後も保護者の方々が、子どもたちを園と一緒に育てていくサポートを行っていきたいと思います。

**玉井** 先ほどもお話ししましたように、3歳から5歳はとて大切な時期なので、保護者の方々には一緒にいる時間を大切にしていたいただきたいですね。それは長さの問題ではな

く、限られた時間でも、楽しいことを一緒にするひとときや、話をちゃんと聴いてあげる時間さえあれば大丈夫。お風呂の中でお話ししてくれたり、たとえ短い時間でも、子どもの話を聞き流さずに目を見て向かい合ってくれた想い出を、子どもは必ず大事にして成長していくことと思います。

**小野山** そうやって、お母様方も子どもと一緒に育っていくのかもしれないですね。

**玉井** ええ、そして子どもが少しずつ立ち立っていく姿

を見ながら自分の生き方にも目が向くようになるんです。私は「何か人や社会の役に立つことを」と考えて、大好きな幼稚園という職場に戻りました。子育てが、復職のための準備期間にもなったように思います。

**河邊** 仕事を再開した当初は、日進月歩の医療の世界に戻って、浦島太郎の気分でした。でも、今は若いスタッフの方々にもいろいろと教えてもらいながら、とてもやりがいを感じています。仕事が楽しいんですよ。社会で生きていく上で、バランスを取るのとはとても難しいことではありますが、子どもへの視点も今の仕事に活かすことができている気がして、これが私の生き方なんだな、と今思っています。

**小野山** 今日お二人とお話して、子育ては、文字通り子どもを育てるだけでなく、子どもと親の両方に「生きる力」を与えることが出来るんだと、私自身、再確認することができました。これからも、そんな保護者の皆様のお役に立つことができるよう、頑張りたいと思います。本日は貴重な時間をいただき、ありがとうございました。



**Profile**  
**玉井 恵津子** 教諭  
たまい・えつこ ● 本学園短期大学(現 短期大学部)幼児教育科卒業後、本園に幼稚園教諭として着任。子育てのため一旦退職後7年間のブランクを経て、本園の非常勤講師として復職し、現在に至る。幼児教育経験は30年を超える本園のベテラン教員。



ブログで紹介される園児たちの様子。



子育て支援の一環として園内で行う保護者会主催の講演会。





The Wonderful Behavior of CJ-Students

# やるネ! 筑女生

勉強をはじめ、さまざまなことに積極的に取り組む筑女生の活躍ぶりを紹介するこのコーナー。今回は1年半におよぶカナダ留学で成長を遂げた大学生と、様々なボランティア活動が評価され「国際ソロプチミストヴァイオレット・リチャードソン賞」を受賞した高校生に登場していただきました。



ホストファミリーと一緒に、カナダならではのアクティビティも満喫。

## 01

【大 学】

### 私を変えてくれた、カナダでの 1年半にわたる語学留学

家富沙織さん(大学/文学部英語メディア学科 平成25年9月卒業)

#### 留学前に決めた3つの 目標を達成するため

#### 留 学

学を決意したのは私が高校生のときでした。

その頃の私は自分に自信がなく、いつも人の目を気にして、人に嫌われないように毎日を過ごしていました。そんな自分が大嫌いで、どうにかして変えたいと思っていました。そこで、今までと全く違った環境に自分を置いたらどうなるのか試したくなりまし。それが留学を考えた最初のきっかけです。

その思いを胸に、英語メディア学科に入学しました。そして、大学の国際交流センターに足を運んだときに、1年もしくは半年、カナダやオーストラリアに語学留学ができ、しかも返済不要の奨学金があるという素晴らしい留学制度を知りました。迷わず、留学試験を受ける決意をし、念願の「カナダで

1年間の語学留学」のチケットを手に入れることができました。

初めての海外、そして長期留学。何もかもが新鮮で、不安よりもワクワクしていましたが、やはり初めは言葉や文化の壁にぶつかりました。高校時代以上に、何も知らない自分が、何もできない自分に嫌気がさしました。ですが、留学をする前に決めていた自分の目標「自分の性格を必ず変える」「カナダの文化そして他国の文化を知り、広く物事を考えられる柔軟性を身に付ける」「留学が終わってもずっと繋がってられる信頼関係の友達を作る」これを達成するまでは帰らないと決めていました。1年間の留学のほとんどが4カ月延長し、約1年半カナダに滞在しました。

帰国してからは、英語だけでなく、他の授業にも意欲を持って参加するようになり、日本語ワープロ検定の初

段にも合格しました。人との付き合い方も変わり、自分の性格を素直に人前で出せるようになりました。特に、ボランティアやオーブンキャンパスのスタッフとしての活動は、新たな視野を広げるきっかけとなりました。

#### この先も出会いと繋がりを大切にしていきたい

私 も今春から社会人になります。何をするかというと、実は介護の仕事に就きます。留学や就職活動を通して、「人と関わり、人の役に立つ仕事をしたい」ということに気づいたからです。今まで学び、身に付けたことは決して無駄にはならず、これから福祉の現場でその力を発揮できたらと思っています。



これまでの道のりは決してまっすぐな一本道ではありませんでした。それは、好奇心旺盛な私に一番合った道だと思っています。大学に入学する前は、こんなにたくさんのご経験をすることができ、ここまで成長できるとは予想もしていませんでした。「自分らしさを見失わないこと」「出会いや繋がりを大切に日々感謝して生きることを忘れずに、これからも日々成長していきたいと思っています。



日本語ワープロ検定の合格証書授与式。



# 02

【高等学校】

## ボランティア活動が評価され、国際ソロプチミスト ヴァイオレット・リチャードソン賞を受賞

伊藤 友紀さん(高校3年)

大切なのは「笑顔と感謝の  
気持ちを忘れないこと」

小 学校1年生の時、ボラ  
ンティア活動をしてい  
た母に連れられて国立病院



国際ソロプチミスト ヴァイオレット・リチャードソン賞の授賞式(中央が伊藤さん)。

の病棟を訪れました。そこで  
言語障がいを持つ女性と出  
会い、生きる強さや優しさを  
感じさせる彼女の笑顔にいつ  
も元気をもらっていました。  
彼女は、うまく話せなくて

も、笑顔の素晴らしさを教  
えてくれました。これがきっ  
かけとなり、私は様々なボラ  
ンティア活動に取り組みよ  
うになりました。

中学生になり、毎年秋に  
大牟田市で行われている「三  
池光竹」というイベントで町  
おこしに奮闘する地域の方  
たちの姿に刺激を受け、私  
も運営メンバーに入れていた  
だきました。この活動を支  
援するために、毎年、国際学  
生ボランティアグループ「NIC  
E」のメンバーと協力して、  
竹林整備や森林保全活動に  
も取り組みました。この時に  
採取した竹は、イベントで竹  
灯籠へと姿を変え、たくさ  
んのお客さんに楽しんでた  
だいた後、竹チップや竹炭に  
して活用しています。

高校生になっても、友達と  
グループを組んで屋台を出  
店し、継続して参加していま  
す。この収益は環境活動のた  
めに使われています。ここで

は高校生であるわたしの意  
見を運営メンバーの一人の  
意見として尊重し、責任あ  
る仕事が任せられます。また、  
一昨年は、高校の東北ボラン  
ティア研修にも参加し、私に  
できることは何か?今、何を  
しなければいけないのか?を  
深く考える機会になりました。

私は活動を通して、いつも  
「人と人との繋がりの大切  
さ」を身にしみて感じます。  
人と人が繋がらなければイ  
ベントも活動も成功するこ  
とはできません。その時にい  
つも大切にしていることは、  
「笑顔と感謝の気持ちを忘  
れないこと」です。

もっともっと  
地域を元気づけたい

昨 年の4月に、高校の先  
生の推薦で、「国際ソロ  
プチミスト ヴァイオレット・  
リチャードソン賞」を受賞し

ました。ボランティア活動を  
通して、地域や世界をよりよ  
い場所にしようと努力して  
いる14歳から17歳の女性を  
対象に選ばれる賞です。この  
賞を受賞することができた  
のは、私にたくさんの方のチャン  
スを与えてくれた両親や、いつ  
も支えてくれていたたくさん  
の人の力のおかげです。自  
分の知らない世界に飛び込  
む時は、見るもの、出会う人、  
すべてが刺激的で、学  
べることをすべて吸収  
する気持ちでいつも  
挑んでいます。今は、  
地域で子どもたちが  
安心して暮らせる医  
療環境の整備に貢献  
するため、小児科医  
を目標し、受験勉強  
中です。大学に入って  
から、さらにたくさん  
の活動を通して成長  
し、もっともっと地域  
を元気にしていきたい  
です。



世界各国から集まった「NICE」のメンバー(左の着物姿が伊藤さん)。



三池光竹の主催者の方たちと竹林の整備。







The Report of Dazaifu Campus

# キャンパス 通信

vol. 06

大学・短期大学部

大学・短期大学部でアクティブに活動する学生たちの姿を紹介するこのコーナー。今回は「大学生協学生委員会(コープフレンズ)」からの活動報告です。

リリパック回収活動にみなさんもお協力をお願いします!

## 笑顔あふれる大学生活を支える「コープフレンズ」の取り組み

中島有香さん  
(大学/人間科学部 人間関係専攻 社会福祉コース 2年)

### 私

たち「大学生協学生委員会(コープフレンズ)」は、大学生協の組合員のよりよい大学生活を目指して活動しています。より多くの方に大学生協の魅力を知っていただき、組合員の皆さんと一緒に一度しかない筑紫女学院大学での生活を充実させたいと考えています。

私たちは、組合員の現状を捉えながら、様々な企画を立案・実施しています。今年度は「Smile with 生協」と方針を定めて活動してきました。この方針には「笑顔の背景に大学生協があったらいいな」という想いが込められています。大学生協があることにより、笑顔あふれる大学生活になることを目指しています。

コープフレンズと一緒にみんなで笑顔になりましょう! 活動の中で重要なことは、一年間を通して、「どの時期に、誰がどのような取り組みを必要と

しているのか」を考えることです。決して簡単なことではないですが、参加していただいた方の笑顔や「ありがとう」の声を聴けることは、私たちにとって一番やりがいを感じられる瞬間です。

毎年11月に企画しているポッキーフェアは、今年度も多くの方に楽しんでいただきました。たくさんの方の笑顔を見ることができ、とても嬉しく思っています。また、環境のことに目を向ける組合員を増やしたいという想いから、「エコ系女子」という活動を始めました。この取り組みは、生協オリジナル弁当のリサイクル容器(リリパック)の回収率を上げるために掲示で呼びかけを行うというものです。

このコープフレンズの活動でしか得られないことがたくさんあります。私たちの取り組みを必要としている人のため、大切な仲間と一緒にこれからも頑張っていきたいと強く思います。

## のびのび! 幼稚園

Vol.05

◆「たけのこクラブ」は、在園児を対象とした預かり保育です。詳しくはホームページをご覧ください。

～保護者の方よりご寄稿いただきました～

### 預かり保育「たけのこクラブ」に感謝!

幼稚園には、現在三男がお世話になっています。兄二人が通っていたほんの数年前に比べて、働くお母さま方が増えたなあと感じています。

昨年から、その時代の変化に合わせ、週単位で「たけのこクラブ」の申し込みができるようにしていただき、前もって仕事の予定が立てられるのでとても助かっています。

年少の時は、体力の面や子どもの気持ちなど、担任の先生と相談しながら利用していました。年中になってからは、週に3回程お世話になっています。

息子は、たけのこクラブで手作りするおや

つをととも楽しみにしており、先日はアップルパイを作り、それが本当に美味しかったのでしょう。「ママ、先生に作り方を聞いたら?」と言われました。手作りのおやつを楽しく、美味しく食べられるように、担任の宮本先生が毎日工夫してくださり感謝しています。

また、大好きな泥団子作りをしたり、気候の良い時は、百年の森や響流の森で遊ばせてもらい、2倍幼稚園生活を満喫しているようです。

17時にお迎えに行った時、子どもの笑顔がたけのこクラブの楽しさを教えてくれ、いつも安心して預けています。

【保護者 高口 愛子さん】



お迎えで子どもの笑顔を見るのが楽しみです。仕事の疲れも飛んでしまいます。



# がんばる! クラブ

vol.  
22

中学校 / 文芸同好会

それぞれの活動に充実した時を重ねる生徒たちのようすをお伝えするこのコーナー。今回は、詩や小説の世界にさまざまな角度からアプローチする中学校の文芸同好会におじゃましました。



和気あいあいとした練習中のひとコマ。



部員構成	主な活動
・3年生 3人	紫苑祭での作品発表、 年1回の部誌発行など
・2年生 10人	
・1年生 3人	
計 16人	

指導者インタビュー

## 自分の内面を見つめ、 言葉を大切にする人へ

言葉と向き合う時間は、自分の内面を見つめる時間にもなります。また、作品を通して、普段は口にはできないことを表現できたり、仲間の文章から意外な一面を知る、あるいは自分にはないものを発見するということがあるのではないのでしょうか。そんな経験をしてほしいので、表現力や構成力を身につけるための指導はするものの、自主性を大切にしています。活動を重ねることで、言葉を大切にする人になってほしいと思っています。



顧問 / 小野澤 文先生

**若い感性が紡ぐ作品に  
それぞれの個性がキラリ!**

**小** 鳥のようにさえずって  
いた生徒たちが、ペン  
を手にすると、ピタッとおし  
やべりをやめて自分の世界  
へ。部長の吉原奈桜さんに活  
動内容を尋ねると、文章への  
アプローチは興味深いものば  
かりで驚かされました。小  
説を3行書いて、その先の展  
開を次の人に委ねる「リレー  
小説」や、大濠公園への吟行、  
感情がない机や消しゴム、パ  
ソコンなどになりきっての創  
作など、さまざまな角度か  
ら文芸を楽しんでいます。

「主な活動は紫苑祭での  
詩や小説の発表。また、全員  
の作品を毎年1冊の部誌に  
まとめ各教室へ置いていま  
す。私自身は、とにかく読書  
と文章を書くことが好きな  
ので、迷わずこの同好会に入  
ったのですが、最近では、気負わ  
ずに話を創り始める人も多  
いです。個性が強い面々なの  
で、まとめるのは大変ですけ  
ど、文章を読むと、その個性  
が光っているんですよ」と吉  
原さん。「同じテーマで小説  
を書いて、お互いに感想を言  
い合ったりするのも好き。読  
み手を意識して書くようにな  
り、作風が変わりました」  
とも話してくれました。彼  
女たちの瑞々しい感性が躍  
る次の部誌も楽しみです。

クラブ活動の成果 | 高等学校 & 中学校 | 各クラブの大会結果など、さらに詳しい情報はホームページへ | 2013.8~2014.1

- ### 高等学校
- 陸上部**  
【福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会】  
●9月21日~22日・福岡県  
●女子総合・2位 ●3000m・2位 古賀清華  
●1500m・4位 伊藤奈々 ●800m・7位 仙田瑠
  - 【国民体育大会】  
●10月8日・東京都  
●少年女子A3000m・2位 由水沙季
  - 【福岡県高等学校駅伝競走大会】  
●10月28日・福岡県  
・1位 1時間10分39秒  
(由水沙季、清水真帆、山下未来、庄村千紗都、山下希望)
  - 【全九州高等学校駅伝競走大会】  
●11月16日・鹿児島県  
・5位 1時間10分4秒  
(山下希望、由水沙季、山下未来、古賀清華、清水真帆)
  - 【全国高等学校駅伝競走大会】  
●12月22日・京都府  
・16位 1時間10分14秒  
(由水沙季、清水真帆、古賀清華、植崎夏美、山下希望)

- 空手道部**  
【福岡県高等学校空手道新人選手権大会】  
●10月19日~20日・福岡県  
●個人形・ベスト8 森百夏
- ソフトテニス部**  
【福岡県高等学校ソフトテニス 新人県大会】  
●11月3日~9日・福岡県  
・ベスト16 宮野・濱地、高野・平野
- テニス部**  
【福岡県高等学校テニス新人大会】  
●10月12日~13日・福岡県  
・団体ベスト8
- ハンドボール部**  
【福岡県高等学校ハンドボール競技新人大会】  
●12月14日~22日・福岡県  
・3位
- 文芸部**  
【全国高等学校文芸コンクール】  
●12月14日・東京(表彰式)  
●詩部門  
・優秀賞 平湯千里  
・入選 安達友莉香  
●俳句部門  
・入選 安達友莉香  
●文芸部誌部門・優秀賞、一ツ橋文芸教育振興会賞

- 【富士正晴全国高校文芸誌賞】  
・優秀校 「いさらみ第55号」
  - コーラス部**  
【九州合唱コンクール】  
●9月13日・鹿児島県  
・銀賞
- ### 中学校
- 剣道部**  
【福岡市中学校新人剣道大会】  
●11月9日・福岡市  
・団体3位
  - 水泳部**  
【福岡市中学校新人水泳競技大会】  
●8月27日・福岡市  
●200m背泳ぎ・1位 石原百那 ●100m背泳ぎ・1位 石原百那
  - 【福岡県中学校新人水泳競技大会】  
●9月7日・福岡県  
●200m背泳ぎ・6位 石原百那 ●100m背泳ぎ・7位 石原百那
  - 音楽部**  
【九州合唱コンクール】  
●9月14日・鹿児島県  
・銀賞





# 【大学 & 短期大学部】 OGと上司に何う「筑女生のこと」 就職の筑女

The Success Story of Finding Work

vol. 27

本学卒業生をご採用いただいている企業へ何うこのコーナー。今回は「身体」と「ころ」を総称して「ボディ」と捉え、「美」「快適」「健康」の価値を提供する株式会社ワコールで活躍中の本学OG、坂井美和子さんと上司の井戸哲也さんにお話を伺いました。

## 株式会社ワコール 福岡店

販売2課

### 坂井美和子さんの巻



平成25年、英語メディア学科卒の坂井さん。「仏教を学んで視野が広がり、考えも深まりました。「輪廻転生」という言葉から、「どう生きるか」を考えたと、今の私に繋がる良い経験です」

会社にも、お客さまにも  
信頼される社員を目指して

「業種も職種も絞らず、とにかく情報を集めて気になる会社があったら説明会に行く。それが私の就活スタイルでした。今の会社にたどり着くまでに時間もかかりましたし、迷いも多かったのですが、だからこそ今頑張れています。仕事で悩んでも「あれだから選んだ仕事なんだから」と思うと前に進めるんです」

そう笑顔で語る坂井さんは、ビューティアドバイザー11年生。先輩社員がマンツーマンで5か月間指導する「フレッシュユマントレーナー制度」を卒業し、独り立ちした社員として、天神地下街のショップでお客さまをお迎えしています。

「さまざまな女性のデータに基づくものづくりへのこだわりや、お客さまの小さなご要望にもお応えする会社の姿勢に誇りを感じます。また、活き活きと働く先輩方は身近なお手本。会社にも、お客さまにも信頼される社員になるのが目標です」

筑女で身につけた  
コミュニケーション力

「はい、下着というデリケートな商品を提案する難しさも感じているとのこと。」

「まず、ご要望やお悩みを話していただけるスタッフであることが大事ですね。そうでなければ、お客さまに喜んでいただける商品をご提案することはできません。もちろん、まだまだですが筑女で身につけたコミュニケーション力が役立つと思います」

天神地下街は、外国からの観光客も多い場所。「今は簡単な英語やジェスチャーでコミュニケーションをとっていますが、もう少し余裕ができたなら、中国語か韓国語を勉強したいと思っています」とも語ってくれました。

「今の私があるのは、進路支援課のサポートのおかげ。先生との会話で面接前の緊張がほぐれ、前向きになりました。先輩も進路支援課を活用して納得できる就職をしてほしいですね」

そう言って微笑む坂井さんは、充実感に輝いて見えました。

上司の方に  
伺いました

コミュニケーション能力を持つ  
自律革新型の人材へ

女性の価値観や個性を何よりも尊重し、世界中の女性に愛される企業であるために

世界70カ国以上に商品

展開する株式会社ワコールホールディングスの一翼として、「株式会社ワコール福岡店」は、国内販売における九州・沖縄エリアを担当し、百貨店・専門店・地場量販店という3つのチャネルで事業を推進しています。そのいずれにおいても、坂井さんが務めるビューティアドバイザーは、お客さまとの直接的接点であり、会社のイメージへ直結するだけに、とても重要な仕事です。

こうした中、昨年度採用した4名の筑女OGは、ビューティアドバイザーとして安心感のある仕事をしてくれています。社内に「私立の女子校では筑女がNO.1」という声があるのも当然かもしれません。

私自身、大学を訪問した際に、伝統に裏打ちされた品の良さや誠実さを感じました。もちろん、坂井さんもその一人です。「入社当時は緊張から笑顔がこちなかつたけれど、今は自信にあふれるおもてなしの笑顔に変貌しました」とは、担当セールスの井

先輩のビューティアドバイザー



「大学時代に何か1つのことへ打ち込む経験を」と語る井戸さん。

井戸哲也さん  
経理総務課長

「ザイからも、お客さまや得意先からも高い評価をいただいているとの報告を受けています。弊社が掲げる目標は、世の女性に美しくなりたいということと共に、広く社会へ貢献すること。その実現のために、昭和39年に設立した「人間科学研究所」において、女性の身体にこだわった基礎研究を続け、下着における新しい価値、本物の価値を創造しています。」

### 今回の登場企業

- 社名：株式会社ワコールホールディングス
- 創立：昭和24年11月1日
- 資本金：132億6,000万円
- 売上高：1,771億円(平成24年3月期：連結)
- 社員数：19,881名(連結)※平成25年3月末現在
- 平成25年度新卒者採用実績：5名 ※福岡店



# 卒業生からの手紙

vol. 9

## あのころ、先生方にいただいた 応援の言葉が今に繋がっています

高校OG 永松愛子さん(宇宙航空研究開発機構主任開発員)

### 有人宇宙開発の仕事に 取り組んでいます

### 私の成長を見守って くれた筑紫女学園

**高** 校在学時から宇宙開発に携わるのが夢でした。現在は、在学時から入りたいと言いつづけていた宇宙航空研究開発機構(JAXA)で、日米露欧カナダの15カ国が参加する国際宇宙ステーション(ISS)を使った有人宇宙開発に取り組んでいます。海外の宇宙機関とも協力して、ISS船内のエリアモニタリング環境計測や日本人宇宙飛行士の個人被ばく線量計測を担当しています。宇宙飛行士をはじめ、研究者、技術運用者、国際調整や安全評価の担当者など、様々な分野のエキスパートが集って成果を出すISSの仕事に、大変やりがいを感じています。

**筑** 紫女学園には3回お世話になりました。1度目は高等学校の生徒として、2度目は大学4年生の教育実習生として、そして社会人になってからは、追夢講座の講師として「宇宙授業」を担当させていただきました。生徒から社会人まで、筑紫女学園はずっと私の成長を見守り、大事な人生の節目に「大丈夫、前に進んでごらん」と、背中を押してくださる大切な存在です。

私は中学時代の先輩の勧めで、筑紫女学園高等学校に入学しました。在学中は、多くの先生方が親身になって勉強、生活、日々の思いに向き合ってくださいました。放課後に、将来の夢を先生や友人とずっと話していたことを懐かしく思い出します。1年生の担任でいらした中尾先生(現在副校長先生)からは、英語を話すだけではなくコミュニケーションを取ることを。数学・生物学の楽しさは、充実した毎日の授業から。化学や物理の楽しさは、当時部長も務めた化学部から学びました。この頃に話していたこと、取り組んだこと、先生方にいただいた応援の言葉すべてが現在の宇宙開発の業務に繋がっています。

航空宇宙開発分野は、まだまだ女性が活躍できる伸び代がある分野です。筑紫



永松さんの思い出の1枚  
当時、部長を務めた化学部のメンバーと  
(上段中央が永松さん)



国際宇宙ステーションの運用業務

女学園から幅広い分野で、国際的なリーダーシップを取る人材がますます活躍されるように応援しています。



**【Profile】**  
ながまつ あいこ(新姓:伊藤)  
●1993年(平成5年)高等学校卒。奈良先端科学技術大学院を修了後、平成11年特殊法人宇宙開発事業団NASDA(JAXAの前身)入社。国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」を運用する有人宇宙ミッション本部で、ライフサイエンス実験と技術開発に携わる。主任開発員。東京大学大学院、総合研究大学院大学を経て工学博士。専門は、宇宙放射線計測と遺伝子工学。平成20年女性技術者に贈る奨励賞「都賀賞」受賞、平成24年JAXA理事長表彰、平成25年アジア放射線研究連合若手研究者賞受賞。小学生2児の母。

## 支えびとさん、登場!

vol. 6

### 警備業務で唯一の女性職員。 「皆さんの笑顔を見るのが 毎朝の楽しみです!」

佐々木 こずえさん(中学校・高校 警備業務)

**昨** 年5月から警固キャンパスでお世話になっていきます。普段は、正面受付で主に来客対応と早朝・夜間の電話対応をさせていただいています。初めて出勤したときは、近代的な建物を見て、校舎とは思えない素晴らしい田舎育ちの私は、ただただ驚くばかりでした。女子校は初めてなので、毎日がとても新鮮です。みなさんが楽しそうに話しながら登校される姿を見るのが楽しみです。

先生や職員の方、生徒さんとの朝と帰りの挨拶。みなさん笑顔で応えてくださるのが、とても嬉しいです。門の前で一礼される姿も、とてもいいなとも思っています。

5月に行われる「紫苑祭」で、生徒さんのダンスの発表があったのですが、昨年は残念ながら正門受付からは見ることができなかったので、今年はしっかりと正面から見たいと思い、今から楽しみにしています。

受付に来られるみなさまに笑顔で帰っていただくよう、これからも丁寧な対応を心がけたいと思います。



生徒のみなさんともっと交流したいので、気軽に声をかけてくださいね。





注目の学園ニュース

# CJ ホットピックス



Look Back On The Race!	
1区 由水沙季(3年)	2年連続区間賞の期待とプレッシャーを感じながらも、期待通りの走りでの偉業を達成
2区 清水真帆(3年)	大会前に胃腸炎になるなど体調が万全ではなかったが、粘りの走りで3区へ
3区 古賀清華(2年)	初の都大路の大舞台、緊張もあったが驚きの役割を果たし4区へ
4区 梧桐夏美(2年)	インターハイも豪華し、この大会に勝てた思いで熱走しアンカーへ
5区 山下希望(3年)	一昨年のリベンジと気負いもあったが、力走し16位でゴール

ラスト400mで驚異的なスパートを見せた由水選手。



競技場や沿道の随所に見え、大勢の応援団が選手を送り出した。小川も駆けつけました。



## 1

高校

### 3年連続・通算21回目の出場を果たした 「女子第25回・全国高等学校駅伝競走大会」

〜由水沙季選手(1区)が2年連続の区間賞〜

#### 「挑む」をテーマに走り込み続けた1年間

昨年12月22日に行われた「女子第25回・全国高等学校駅伝競走大会」において、本校は1時間10分14秒の記録で16位という結果に終わりました。

1区の由水が2年連続区間賞という圧巻の走りです。スタートを切ったにもかかわらず、2区以降レースの流れに乗りきれず、力を出し切れず、結果となりました。昨年の4位から

大幅に順位を下げ、入賞すらできなかった結果に悔しさ一杯です。

昨年度の大会後、今年度のテーマを「挑む」と掲げ、選手たちは「日本一」を目標に1年間、毎日黙々と走り込みを続けました。しかしながら、故障者が多く、一番練習しなければならなかった夏場の走りこみが十分にできなかったこと、大会に調子を上げられなかったこと等々、選手たちの個々の力を出し切れなかったのは私の責任です。この反省すべき点を今後の課題として、今年度の都大路で必ず結果を出し、応援してください。多くの方々に恩返しをしたいと思います。

結果には満足できませんでしたが、毎日5時50分からの朝練習、放課後の本練習、年間31日の強化合宿(春休み/5月の連休/夏休み/秋休み)と、選手たちが1年間「駅伝」に全てを賭けて懸命に努力してきた過程は讃えていただきたいと思います。

大会後行われたリーガロイヤルホテルでの報告会の選手の手挨拶の中で、全員が感謝という言葉を送ってくれたように、私たちを支えてくださった多くの皆様方に選手一同、感謝致しております。

3年生主体のチームでしたが、今は1・2年生の新チームに変わり、新たなスタートを切っています。先輩たちが築いてくれた伝統を継承し、「強い筑女」を復活できるように、これからも精進し頑張っていきますので、今後とも陸上部をご支援いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、遠方より応援に来ていただいた、後援会、精華会、学校関係の皆様、本校の生徒たち、保護者、OG、その他たくさんの方々に、本当にありがとうございます。準備や当日のお世話をいただいた先生方、事務の皆様方ありがとうございます。心より御礼申し上げます。  
〔高等学校 陸上部監督/岩元雅輝〕

## 2

大学・短期大学部

### 2013 STUDY ABROAD FAIR

「留学・研修報告会」を開催！  
「行ってみたいホントはこんなところだった!」

#### 大学・短期大学部では、多彩な海外留学・研修制度を展開中!

大学・短期大学部では、毎年100名程が海外留学や研修に参加しています。今年も新たにフィリピン・セブ島での3週間マンツーマン英語研修を開催するなど、学生の様々なニーズに応じた幅広い研修プランを用意しています。さらに、ニューヨーク州立大学と西シドニー州立大学と西シドニー大学から短期留学生を受け入れ、国際交流の機会を増やしています。



留学した大学のロゴ入りトレーナーを着て、映像や写真で現地の様子を報告。

昨年11月、これらの留学・研修に参加した学生たちが、体験談を発表する報告会を開催しました。英語圏長期留学(カナダ、オーストラリア)、中国語圏長期留学(中国)、海外短期研修(インド、ニュージーランド、フィリピン、中国)、海外学生交流(ニューヨーク州立大学、西シドニー大学)のグループごとにパネルやパワーポイントを作成し、海外研修に興味がある学生たちにプレゼンテーションを行いました。「1日6時間のマンツーマンレッスンで、英語力アップを実感した」「研修を通して、自分がしたいことを見つけることができた」など、海外で過ごした経験を生き生きと、そして自信に満ちた表情で話していました。海外研修に興味がある方は、ぜひ国際交流センターをのぞいてみてください。新たな世界と自分に出会う第一歩を踏み出してみよう。



詳しくはウェブで!

各校・幼稚園のウェブサイト内「新着情報」に「CJフォトピックス」で紹介した情報の詳細の掲載しております。そちらも併せてご覧ください。



**パラバドミントンで世界一**  
11月10日、ドイツで開催されたパラバドミントン世界選手権大会において、人間科学部社会福祉コース3年の豊田まみ子さんが見事優勝しました。



**ニューヨーク州立大学へ派遣**  
9月1日～14日、アメリカ・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校へ学生2名を約2週間派遣しました。



**美人時計×学園祭**  
10月11日～11月24日、「美人時計福岡版」の学園祭タイアップ企画に、本学の学生たちが登場しました。



**学生チャレンジプロジェクト**  
10月14日～17日、カンボジア地雷撤去チャリティプロジェクトが、太宰府のいきいき情報センターで写真展を開催しました。



**第48回筑紫祭**  
10月26日・27日、田中圭さんのトークショー、カラオケ大会、キャンパスクイーンコンテストなどで大盛況でした。



**ドス・ソピアップさん講演会**  
11月6日、地雷被害者の女子大学生が語る「カンボジアの今、私の夢」を開催しました。



**社会福祉研究部へ感謝状**  
11月7日、青少年の非行防止に尽力したとして、社会福祉研究部が福岡保護観察所長から感謝状をいただきました。



**震災ボランティア報告会**  
11月7日、8月～9月の震災ボランティアに参加した学生18名の報告会を開催しました。



**ソフトテニス部準優勝**  
12月22日、福岡市秋季選手権大会で、1年生の真島さん・尾倉さんペアが準優勝しました!今年も九州リーグ上位を目指します。



**筑女フィル定期演奏会**  
12月24日、大野城まどかびあホールにおいて、第7回定期演奏会を開催しました。筑女フィルはみなさまに支えられ、10周年を迎えました。

Webサイト情報

●大学・短期大学部

「Fukuokaの休日」<http://www.chikushi-u.ac.jp/fukuoka/>

筑女生が福岡の魅力を発信する新コーナーができました。



◀こちらからもアクセスできます



▶今後の予定 【大学・短期大学部】

日程	開催内容	開催場所	日程	開催内容	開催場所
2月13日(木)	一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、学内進学入試(前)	太宰府キャンパス	3月13日(木)	卒業式(短)	太宰府キャンパス
2月13日(木)	編入学試験(大) 社会人特別入試(大・短)	太宰府キャンパス	3月14日(金)	修了式(院) 卒業式(大)	太宰府キャンパス
3月2日(日)	一般入試(後期日程)(大)	太宰府キャンパス	4月4日(金)	入学式	福岡国際会議場
3月11日(火)	自己推薦入試(2期)(大)	太宰府キャンパス	7～8月	オープンキャンパス	太宰府キャンパス





**母校でオリジナル成人式**  
1月12日、講堂にて新成人の卒業生と教員、約170人が集合し、同窓会を兼ねたオリジナルの成人式を開催しました。



写真で見る筑女生的「今」  
**CJ フォトピックス**  
高等学校・中学校



High School  
Junior High School



**中村哲氏講演会**

9月2日、医師でベシヤワール会現地代表の中村哲氏をお招きし、「アフガニスタンに生命の水を」の演題で講演していただきました。



**高校 学校紹介・見学会**

9月21日・10月12日、学校説明や体験授業、施設・部活動見学など、女子校ならではの良さや本校の特色などを説明しました。



**中学 体育祭**

10月18日、九電記念体育館にて「信合(しんごう)～燃えるじえ!光るじえ!はばたくじえ!」のテーマのもと体育祭を開催しました。



**中学 学校紹介・見学会**

10月26日・11月16日、学校生活や学習についての説明や、施設・部活動見学など生徒がガイド役となって行いました。



**芸術鑑賞会**

10月29日、全校生徒を対象に福岡サンパレスにて劇団「わらび座」によるミュージカル「ブッダ」を鑑賞しました。



**追夢(ツイム)講座**

11月2日、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の職員で卒業生の永松愛子さんを講師にお招きし、追夢講座を開催しました。



**CHIKUJO DE NIGHT説明会**

11月27日・11月29日・12月2日の3日間、本校の受験をお考えの中学生とその保護者を対象に、夜の説明会を行いました。



**高校 修学旅行**

12月14日～18日、高校2年生が5つのコース(北海道、関東・東北、関西、シンガポール、ハワイ)に分かれて修学旅行に行きました。



**中学 弁論コーラスコンクール**

12月19日、講堂にて弁論コーラスコンクールを開催し、各クラスの代表者による弁論、全クラスによる合唱を行いました。

Webサイト情報

- 高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/h/sp/>
  - 中学・高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/j/sp/>
- 【ホームページがスマートフォン対応になりました。】



▲こちらからもアクセスできます

▶ 今後の予定 【 高等学校・中学校 】

日程	開催内容	開催場所
2月 7日(金)	高校 前期入試	警固キャンパス
2月15日(土)	高校 後期入試	警固キャンパス
3月 3日(月)	高校 卒業式	警固キャンパス
3月5日(水)～12日(水)	中学 海外研修	オーストラリア
3月6日(木)～13日(木)	中学 海外研修	オーストラリア
3月12日(水)・13日(木)	高1・2 クラスマッチ	警固キャンパス

日程	開催内容	開催場所
3月18日(火)	中学 修了式・終業式	警固キャンパス
4月 8日(火)	中学 高校入学式	警固キャンパス
4月中旬	中学 高校新入生オリエンテーション	警固キャンパス
4月中旬	高校 新入生研修	佐賀ホテル龍登園
4月下旬	中学 新入生研修	福岡社会教育総合センター
5月下旬	紫苑祭	警固キャンパス





**運動会**  
10月5日、子どもたちがとても楽しみにしていた運動会。みんな一生懸命頑張り、思い出に残る運動会になったと思います。



**オープンキャンパス**

9月7日、たくさんのお友達が遊びに来てくれました。園庭で遊んだ後は、体操、工作などで幼稚園気分を体験してもらいました。



**稲刈り**  
10月18日、今年は天候やすずめの被害にあっていづもより収穫は少なめですが、年長さんが残っている稲を大切に収穫しました。



**保護者会講演会**

10月21日、特任教諭の青沼先生と園長先生に「こどものタイミングの見極め」などについて講演していただきました。



**警固小1年生との触れあい**

10月28日・30日、年長さんが、警固小学校1年生のお兄さんお姉さんと一緒に、こーるの森で遊びました。



**大学のお姉さん先生**  
10月28日～30日、大学のお姉さん先生が見学実習で幼稚園に来てくれました。園内はいつも以上にとても賑やかになりました。



**動物園遠足**

10月29日、新しくなった動物園に、年中さんと年長さんは歩いて、年少さんはバスに乗って動物園に出発しました。



**年中発表会**

12月7日、年中さんの発表会では、一人ひとりが絵本の登場人物になりきり、お話の世界を満喫しました!!



**年長発表会**

12月14日、年長さんの発表会では、子どもたちと先生が一つになり劇を作り上げ、大勢のお客さんの前で堂々と演じることができました!!



**もちつき**

12月21日、おもちの湯気とお父さんの熱気で、心まで温まるもちつきになりました。子どもたちもおいしかった!と大満足でした。

写真で見る筑女生的「今」  
**CJフォトピックス**

幼稚園



**Webサイト情報**

●幼稚園  
http://www.chikushi.ac.jp/knd/sp/  
ホームページがスマートフォン対応になりました。

◀こちらからもアクセスできます

▶ 今後の予定 【幼稚園】

日程	開催内容	開催場所
2月 1日(土)	竹馬披露会	幼稚園
2月 8日(土)	年少劇あそび会	幼稚園
2月19日(水)	ミニコンサート	幼稚園
3月 5日(水)	おわかれパーティー	幼稚園
3月18日(火)	卒園式	幼稚園

日程	開催内容	開催場所
3月19日(水)	終園式	幼稚園
4月 7日(月)	始園式	幼稚園
4月 9日(水)	入園式	幼稚園
5月 2日(金)	歓迎遠足	未定
5月中旬	オープンキャンパス	幼稚園





## プレイバック「筑紫女学園2013」

～本学園の“この1年”を振り返りました～

本学園の2013年1月から12月における特筆すべきトピックスをピックアップしたこのコーナー。振り返ってみればこの1年も、新たな試みや活躍した人々などが続々登場しました。

## 1月

- 1月13日(日) (高) 同級生や恩師ら約170人が集し、母校でオリジナル成人式を開催

## 2月

- 2月2日(土) (幼) 親子でいっしょに作った竹馬で披露会を開催
- 2月16日(土)～28日(木) (大)(短) 第22回インド・ネパール「思想と文化」研修を実施
- 2月20日(水) (高)(中) 作家ケビン・パウエル氏を迎えて記念講演会を開催
- 2月20日(水)～25日(月) (大)(短) 5回目となる東北への震災ボランティアを実施
- 2月23日(土)～3月16日(土) (大) 語学研修と職業体験を行うニュージーランドキャリア研修を実施
- 2月28日(木) (大) 平成24年度第2回日本語検定で、「文部科学大臣賞(団体表彰)」を受賞



## 3月

- 3月6日(水)～13日(水)、3月7日(木)～14日(木) (中) オーストラリアで海外語学研修を実施
- 3月11日(月) (大)(短) 浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会と学生たちが、東日本大震災の募金活動を実施
- 3月16日(土)～21日(木) (大)(短) 6回目となる東北への震災ボランティアを実施
- 3月29日(金) (大)(短) 元アップルコンピュータ社長の山元賢治氏を迎えて講演会を開催

## 4月

- 4月8日(月)～10日(水) (大)(短) 筑女県人会、サークルフェスタなど新入生歓迎イベントを開催
- 4月18日(木)・25日(木) (幼) たけのこ掘りとたけのこパーティーを開催

## 5月

- 5月24日(金)～25日(土) (高)(中) 「"Shine" いつ輝くの?今でしょ!!」をテーマに築苑祭(文化祭)を開催

## 6月

- 6月3日(月)～6日(木) (大)(短) 東日本大震災写真展「みちのくPhoto Caravan @筑紫女学園大学」を開催

## 7月

- 7月1日(月)～19日(金) (大)(高)(中) ニューヨーク州立大学、西シドニー大学から短期留学生が来校
- 7月5日(金) (高) 九電記念体育館において、高校の体育祭を開催
- 7月6日(土) (幼) 基平や浴衣でゲームや盆踊りを楽しむ夏まつりを開催
- 7月13日(土) (高) 父母教師会・国際理解委員会による日本文化体験プログラムを開催
- 7月25日(木) (大)(短) mon(もん)さんを迎えてトーク&ライブの人権講演会を開催
- 7月29日(月)～8月3日(土) (中) 宗像市のグローバルアリーナにおいて、中学2年生が2泊3日のサマー語学研修を実施

## 8月

- 8月11日(日)～29日(木) (大) 中国・南開大学語学研修を実施
- 8月20日(火) (高) 博多座で公演された「レ・ミゼラブル」出演の森公美子さんが高校コーラス部と交流
- 8月24日(土)～25日(日) (幼) 第41回九州地区保育研修福岡大会を開催
- 8月25日(日)～9月15日(日) (大) フィリピン・セブ島語学研修を実施
- 8月25日(日) (高) 福島県いわき市で開催された「第3回フラガールズ甲子園」に初出場し、努力賞を受賞



- 8月28日(水)～9月2日(月) (大) 7回目となる東北への震災ボランティアを実施
- 8月31日(土) (幼) 親子で竹の切り出しからはじめる「そうめん流し」を開催

## 9月

- 9月1日(日)～14日(土) (大) ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校へ短期交換留学生を派遣
- 9月2日(月) (高)(中) 医師でベシワール会現地代表の中村哲氏を迎えて講演会を開催
- 9月12日(木)～9月17日(火) (大) 8回目となる東北への震災ボランティアを実施
- 9月14日(土)～15日(日) (高)(中) 第68回九州合唱コンクールにおいて銀賞を受賞
- 9月18日(水) (大) 台湾・中国文化大学と学術交流協定を締結



## 10月

- 10月5日(土) (幼) ソーラン節、騎馬戦、かけっこ、お遊戯と盛りだくさんの運動会を開催
- 10月18日(金) (中) 九電記念体育館において、中学校の体育祭を開催
- 10月19日(土) (幼) 親子で竹から切り出す竹馬づくりを実施
- 10月26日(土)～27日(日) (大)(短) 第48回築苑祭(学園祭)

## 11月

- 11月1日(金) (大)(短) 台湾・静宜大学との交流協定を締結
- 11月2日(土) (中) 中学2・3年生対象に「職業を知らう」講演会を開催
- 11月2日(土) (高)(中) JAXA(宇宙航空研究開発機構)の永松愛子さんを迎えて「追夢講座」を開催
- 11月16日(土) (大)(短) 地雷被害者の女子大学生ドス・ソビアップさんを迎えて講演会を開催

## 12月

- 12月21日(土) (幼) 親子で竹でつくもちつき大会を開催
- 12月22日(日) (高) 「女子第24回全国高等学校駅伝競走大会」で、高校陸上部が16位

【凡例】(大)=大学 (短)=短期大学部 (高)=高校 (中)=中学 (幼)=幼稚園

※本誌「CJ Report」掲載記事以外の情報は、学園Webサイトより(<http://www.chikushi.ac.jp>)



平成25年度  
福岡県私立学校教育功労者  
青沼典子  
(筑紫女学園大学短期大学部  
附属幼稚園 特任教諭)

おめでとうございます

● 寄贈  
幼稚園へ  
本山敬一様  
絵本 8セット

● 寄付金  
古賀智子様  
金額 10,000円  
(後輩の学校生活に役立てるため)

● 寄附奨学金  
栗山俊之様(大学教授)  
栗山宏之様(中学校教諭)  
金額 200,000円  
(香典返し)

● 寄附奨学金  
故保刈楨子様  
(元短期大学教授)  
金額 1,000,000円

● 寄付(順不同)  
左記のとおりご寄付をいただきました。  
誌上、御礼とご報告をいたします。

筑紫女学園からのお知らせ



学園創立110周年のあるべき姿を目指して

# 学園中期計画「筑女プラン2017」進行中！

■ 図表1 「進捗判断の基準」

達成度 (進捗率)	評価指標	昨年度 (平成24年度)の 進捗度内訳
100%	予定していた計画の全てが実施され、成果指標に基づいた検証結果を踏まえて、次年度の計画に着手できる状態。	32施策
80%	予定していた計画がほぼ完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	30施策
60%	予定していた計画の半分以上が完了し、成果指標に基づいた検証を実施。	18施策
40%	議論・打ち合わせ等の行動に着手し、年度内に予定していた計画の40%程度が完了。	18施策
20%	議論・打ち合わせ等の行動には着手したが、年度内に予定していた計画の20%程度しか完了できていない。	19施策
0%	議論・打ち合わせ等の行動が全く行われていない。	6施策

平均進捗率 62.9%

合計 123施策★

★1施策については、平成27年度からスタート予定

■ 図表2 「ローリングの実施と検証体制図」

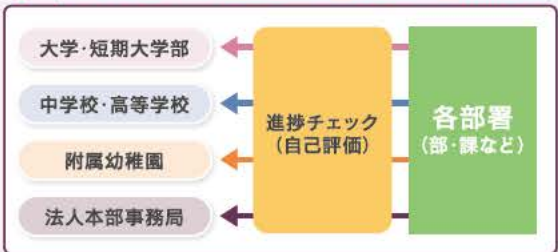
◆ 筑紫女学園の「ローリングプラン」



◆ 全体進捗チェック体制



↑ ↓ 学園内のイントラを通して、全教職員で進捗評価の結果を共有



昨年度は全体で62.9%の進捗状況

中期計画「筑女プラン2017」は、学園全体でその柱となる12の項目を共有した上で、各学校ごとに具体的な行動計画を「アクションプラン」(学園合計124施策)として掲げ、昨年度(平成24年度)スタートしました。

2年目となった今年度は、まず昨年度の各実績を6段階(100%から20%刻み)で評価することから始め、その結果、全124施策平均62.9%という進捗状況となっています。このうち、半数にあたる62

施策が「80%」を超える進捗率となり順調に滑り出した一方で、昨年度は中期計画の基礎となる議論が多かったことも

あり、具体的な成果に結びつけることのできなかった施策(40%以下)が少なくなかったという現実も明確になっています(図表1「進捗判断の基準」参照)。

昨年度の進捗状況を踏まえ、「ローリング」を実施 これらの反省を踏まえ、昨年度の進捗率が40%以下の施策については「ローリング」(修正)を実施、より現実に即した内容へ軌道修正した上で、今年度の計画を進めています。この「ローリング」は、今後も各年度中に適宜実施しながら、より詳細な単年度の事業計画と連動させ、最終的に中期計画の確実な実施へ結び付けていくこととして

※「宗教教育」「女子教育」「教育」「園児・生徒・学生支援」「国際交流」「研究・研修」「広報・入学定員確保」「社会貢献」「施設・設備」「管理運営」「財務」「新規事業」  
● アクションプランの概要につきましては、昨年度学園報(No.79)および学園ホームページ「筑紫女学園報」バックナンバー <http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/79/> をご参照ください。



公開講座  
レポート①

## 様々な子どもといかに向き合うか…

●ともいき(共生)スキルアップ講座 ～教育カウンセリング入門～

10月19日(土)筑紫女学園大学において、「ともいき(共生)スキルアップ講座～教育カウンセリング入門～」を開催しました。講師は人間科学部人間科学科の益満孝一教授、酒井均教授です。

今回の講座では、前半は益満先生による「育てるカウンセリング」、後半は酒井先生による「発達障がいの子どもの理解と支援」についてお話いただきました。

前半の「育てるカウンセリング」では、現代の子どもは人と関わることが苦手、コミュニケーション不足であることを学びました。その後、教育カウンセリ

ングの主要な方法として2人1組で話す人と聞く人に分かれ「傾聴」を行う「構成的グループエンカウンター方式」で参加者の皆さんで実践しました。今日初めて会った隣の方とも話が盛り上がり皆さん楽しそうに会話をしていました。「傾聴」の大事さを改めて体験して頂けたようです。

後半の「発達障がいの子どもの理解と支援」では、自閉症、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、アスペルガー障がいについて学んでいきました。発達障がいの原因は脳内の機能不全とわかっていますが、どこがどのようにうまく動かないのかははっきりして



いません。障がいの特徴や行動観察、正しい行動をするためにはどのような力が必要かを考え、問題行動の原因の究明をし、原因からそれにあつた対応方法を考えることが大切だということを知りました。(大学/人間科学部人間科学科人間形成専攻幼児保育コース2年 樋口禎子さん)

公開講座  
レポート②

## 仏教の奥深さを改めて知った90分

●第20回 仏教研究室公開講義① 「仏教入門～釈尊の教え～」

11月2日(土)筑紫女学園高等学校紫苑館において「第20回仏教研究室公開講義「仏教入門～釈尊の教え～」」を開催しました。今回は「縁起という考え方」をテーマに、文学部英語学科の小林久泰准教授に講演いただきました。

「縁起」とは、もともと「あるものに依存してあるものが生じること」を意味します。それは「〇〇があれば△△がある」という肯定的な関係だけではなく「〇〇がなければ△△がない」という否定的な関係を含めた、広い意味での「因果関係」を意味しています。また、「縁

起」という教えは、十二支縁起(苦しみが起こるプロセスをより詳細に説明したもの)に代表されるように、苦しみの根本的な原因である「無知」をなくするためにはどうすればよいかを我々凡人に示すために、釈尊によって整理され、説かれたものです。この「縁起」の教えは、仏教の発展とともに、あらゆるものはすべて単独では存在せず、何かしらの関係性を持って存在しているという仏教の独自の世界観を構築していきました。またその結果、万物をすべて絶対的ではなく相対的な存在と捉える「空(くう)」の思想が形成されました。



今回の講義では、仏教の奥深さ、面白さに吸い込まれるような感じがして、参加者の皆さんもとても熱心に聞き入っていました。(大学/人間科学部人間科学科人間形成専攻幼児保育コース2年 樋口禎子さん)

## Professors' Works ～先生方の著作紹介～

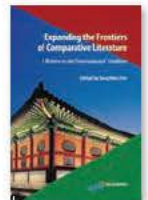
## 『Expanding the Frontiers of Comparative Literature』

(A Return to the Transnational Tradition, edited by Sung-Won Cho )

●間瀬玲子(大学/英語メディア学科)著

19世紀の作家ジュール・ド・ネルヴァルが「東方紀行」を執筆する際に参考にした「ヒュペネトマキア・ポリフィリ」の原書(1499年)とフランス語訳(1546年)を比較検討した論文が本書に収録された。

Chung-Ang University Press(韓国/ソウル)刊  
25,000ウォン  
2013年7月31日発行

『長崎・東西文化交渉史の舞台 ポルトガル時代/オランダ時代』<sup>※1</sup>『長崎・東西文化交渉史の舞台 明・清時代の長崎/支配の構図と文化の諸相』<sup>※2</sup>

●若木太一編、高山百合子(短期大学部/現代教養学科)他 共著

江戸時代国際交流の中心地であった長崎に着目し、そこで展開した歴史・文化の諸相を描く。

勉誠出版 刊  
※1=4,200円 ※2=6,300円  
2013年9月20日発行

